

講義名	アジア経済論					授業形態	
担当教員	辻 美代		開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2 時限			
	単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング・コード	ECN363	

主題と概要
中国はアジアで経済的および政治的に圧倒的な存在力を示している。中国はGDPで日本を凌駕し、米国と並ぶ世界経済のけん引役に躍り出た。ところが、現在、技術覇権をめぐり米中は対立を深めている。米中対立は中国と関係の深い日本経済に深刻な影響を与えている。本講義ではアジア経済の新旧リーダーである日本と中国の関係をスボットを当て、アジア経済の発展を考える。講義では、アジアの経済発展を「グローバル化」つまり投資・貿易を通じて達成されたと考える。具体的には、繊維ビジネスを通じたアジアの経済発展を考える。繊維ビジネスを取り上げるのは、一国の経済発展で最初に工業化されるのが繊維（アパレル）産業だからである。かつての日本がそうであったように、現在、中国繊維（アパレル）企業はアジア諸国への直接投資が始まり、アジア諸国にも発展のダイナミズムがんでいる。現在、中国は高度経済成長が終わり、米国との経済対立も深まるなかで技術革新による成長を目指している。中国経済発展のダイナミズムを伝えると同時に、習近平体制下での経済発展における不安定要素も伝えていきたい。

到達目標
学生は、戦後「東アジアの奇跡」と欧米から讃嘆されたアジアの経済発展メカニズムの概略が分かるようになる。世界経済に大きな影響を持つ中国経済の地位が分かるようになる。アジアにおける相互依存関係が分かるようになる。

提出課題
・授業中に課題を出し、次回授業時に提出してもらいます（数回予定）。 ・授業中に復習（確認）テストを行います（複数回予定）。
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
・課題は次回授業時に解説します。 ・復習（確認）テストは授業中に講評・解説を行います。

評価の基準
課題の提出、確認テストまたは小テスト、期末試験を総合して評価します。但し、状況に応じて評価の基準は変化することがあります。 ・課題提出・・・・・・・・・・・・・2.0点 ・確認テストおよび小テスト・・・・4.0点 ・期末試験・・・・・・・・・・・・・4.0点

履修にあたっての注意・助言他
先ず、日本（留学生は自国）に対して興味関心を抱くこと。自国への理解なく、他国への理解は不可能です。そして、中国およびアジア地域に興味を持ってください。テレビ・新聞・雑誌などを通じてアジアおよび世界に目を向けるようにしてください。

教科書にあたっての注意・助言他									
まず、日本（留学生は自国）に対して興味関心を抱くこと。自国への理解なく、他国への理解は不可能です。そして、中国およびアジア地域に興味を持ってください。テレビ・新聞・雑誌などを通じてアジアおよび世界に目を向けるようにしてください。									

教科書				
.教科書は使用しない。.				
参考図書				
.転換期の中国の企業群像.	佐々木信彰	晃洋書房	2800	9784771030077
.中国・新興国ネクサス：新たな世界経済循環.	末広昭	東京大学出版会	5500	9784130461269
.新中国産業論.	湯川和郎その他	文真堂	2800	9784830952678

その他
中国関連の新聞記事を配布します。
授業計画

1. 授業の主題とアジア経済の動向 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 2. 冷戦の終了とグローバル化 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 3. アジアの経済発展 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 4. 中国の改革開放政策 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 5. 中国WTO加盟 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 6. 中国WTO加盟 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 7. 中国の経済発展 - 「世界の工場」 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 8. 中国の経済発展 - 「世界の市場」 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 9. 中間まとめと小テスト(中間テスト) 予習内容：これまでの授業内容をしっかり復習すること（120分） 復習内容：テストで出来なかったところを調べ、理解を深めること（120 分） 10. 産業の発展と企業 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク
☐ キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
目標を達成することで、達上国における貧困問題の解決策を、「経済発展戦略」として提案することができるようになる。 目標を達成することで、世界経済の動きを理解できるようになり、また、諸問題に向き合い、解決策を提案することができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
実務経験の有無及び活用
備考
同じやるなら、楽しくやりましょう。